

ウオダス

漁海況速報

No. 1560



発行日 平成 19 年 6 月 11 日

http://www.applenet.jp/~aosui/

発行 青森県水産総合研究センター

TEL 0173-72-2171 FAX 0173-72-2778

住所 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸 384-37

6月のウオダス発行日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	⑥	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	⑳	22	23
24	25	⑳	27	28	29	30

●青森県日本海沖のスルメイカの CPUE は 25 尾 (開運丸によるスルメイカ分布調査結果)

小泊 (6月6~10日)	
スルメイカ	一本釣 215隻 196,200kg
ウスメバル	一本釣 99隻 1,333kg (7,061kg)
	刺網 49隻 5,728kg

下前 (6月1~5日)	
マダイ	刺網 6隻 9kg
ウスメバル	一本釣 12隻 339kg (3,278kg)
スルメイカ	一本釣 85隻 54,285kg

鰺ヶ沢 (6月6~10日)	
スルメイカ	底曳網 2隻 380kg (33,005kg)
サクラマス	一本釣 42隻 32,625kg
マダイ	底建網 2隻 13kg
	一本釣 26隻 100kg
	一本釣 4隻 10kg
	刺網 1隻 7kg
	延縄 1隻 58kg
ウスメバル	底建網 3隻 1kg
ワラサ	底建網 4隻 8kg (10kg)
	一本釣 1隻 3kg
マサバ	底建網 1隻 1kg (17kg)
	底曳網 1隻 16kg
アブラツノザメ	底曳網 1隻 4kg

沢辺 (6月6~10日)	
サクラマス	定置網 1隻 5kg
マダイ	定置網 1隻 8kg (28kg)
	底建網 6隻 20kg
ウスメバル	底建網 4隻 5kg
メジ	定置網 1隻 320kg
ブリ	定置網 2隻 200kg
イナダ	定置網 2隻 20kg
ワラサ	定置網 2隻 6kg
マサバ	定置網 1隻 5kg (8kg)
	底建網 2隻 3kg

三厩 (6月6~10日)	
マダイ	一本釣 20隻 240kg (878kg)
	刺網 22隻 638kg
ウスメバル	一本釣 13隻 179kg
スルメイカ	一本釣 16隻 11,300kg
アブラツノザメ	延縄 4隻 1,200kg

平館 (6月6~10日)	
スルメイカ	定置網 51隻 366kg
マダイ	1,258kg
マイワシ	1,116kg

大戸瀬 (6月6~10日)	
ヤリイカ	定置網 3隻 0.6kg
スルメイカ	定置網 4隻 180kg (4,665kg)
	底建網 17隻 435kg
	一本釣 9隻 4,050kg
サクラマス	定置網 8隻 17kg (26kg)
	底建網 3隻 9kg
ブリ	定置網 37隻 1,169kg (1,180kg)
	底建網 5隻 10kg
マダイ	定置網 34隻 318kg (960kg)
	底建網 91隻 578kg
	刺網 5隻 64kg
マダラ	定置網 4隻 113kg
マサバ	定置網 8隻 969kg (996kg)
	底建網 11隻 27kg
マダラ	底建網 1隻 2kg
ウスメバル	定置網 4隻 0.7kg (5kg)
	底建網 20隻 4kg
	刺網 1隻 0.1kg

深浦 (6月6~10日)	
スルメイカ	一本釣 90隻 45,315kg
マダイ	定置網 12隻 1,389kg
ブリ	定置網 16隻 9,042kg
メジ	定置網 8隻 352kg

大畑 (6月6~10日)	
ヤリイカ	定置網 11隻 59kg (60kg)
	底建網 1隻 2kg
スルメイカ	定置網 11隻 2,349kg
サクラマス	定置網 11隻 59kg
ブリ	定置網 3隻 10kg
ウスメバル	底建網 10隻 14kg (131kg)
	一本釣 3隻 81kg
	籠 1隻 36kg
マサバ	定置網 6隻 88kg (113kg)
	底建網 3隻 25kg
マイワシ	定置網 1隻 1kg
マダラ	定置網 2隻 124kg
マダイ	定置網 8隻 13kg (37kg)
	底建網 6隻 24kg
	刺網 1隻 0.3kg

佐井 (5月26~31日)	
ヤリイカ	定置網 58隻 374kg
サクラマス	定置網 13隻 68kg

尻労 (6月6~10日)	
(取りまとめ中)	

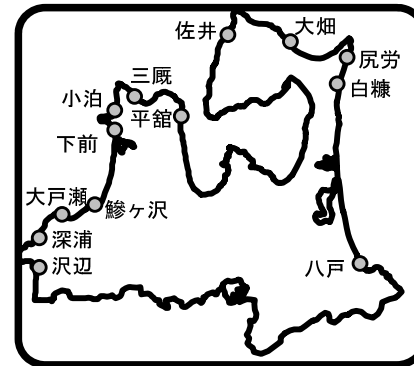
白糠 (6月1~10日)	
(取りまとめ中)	

主要魚種の動き

〇タイ (全漁法・6月6~10日)				
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(4月~)	昨年同期累計比
小泊	0kg	-	1,388kg	48%
鰺ヶ沢	175kg	103%	5,264kg	108%
大戸瀬	960kg	24%	28,602kg	146%
深浦	1,389kg	18%	28,860kg	312%
沢辺	28kg	61%	7,707kg	103%
(津軽海峡)				
三厩	878	216%	1,980kg	280%
(陸奥湾)				
平館	1,258kg	66%	4,768kg	21%

〇スルメイカ (一本釣・6月6~10日)				
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
小泊	196,200kg	179%	375,940kg	4394%
下前	54,285kg	20563%	54,884kg	1081%
鰺ヶ沢	32,625kg	659%	37,575kg	9054%
深浦	445,315kg	694%	522,550kg	38565%
(津軽海峡)				
三厩	11,300kg	128%	22,700kg	1414%

〇ブリ (全漁法・6月6~10日)				
(日本海)	今回	前回比	漁期累計(5月~)	昨年同期累計比
鰺ヶ沢	10kg	-	23kg	121%
大戸瀬	1,180kg	26%	11,118kg	473%
深浦	9,042kg	508%	30,618kg	837%
沢辺	226kg	49%	2,235kg	192%



八戸 (6月6~10日)	
サケ	他定置網 5隻 1,358kg

◎青森県海面漁業漁獲状況調査月報 (平成 19 年 4 月) の概要

- 4月の漁獲数量は16,561トン、漁獲金額は32億3,627万円で前年同月比は数量で213.0%、金額で146.2%となった。また、1~4月合計について前年と比べると、漁獲数量は41,630トン(対前年比93.9%)、漁獲金額は112億691万円(対前年比99.6%)となった。
- ほたてがい半成貝は9,508トン(前年同月比641.7%)、10億2,623万円(前年同月比553.2%)
- あかいか(海外)は2,262トン(前年同月比96.0%)、2億6,534万円(前年同月比114.0%)
- ほたてがい成貝は1,746トン(前年同月比123.1%)、2億3,288万円(前年同月比112.2%)

沿岸各地の水温

日本海 15 ~ 18 台
陸奥湾 14 ~ 17 台

(6月6~10日)

津軽海峡 13 ~ 16 台
太平洋 12 ~ 13 台

今回は各地域で昇温がみられ、平均前回差は+0.8度となりました。

昨年と比べると、日本海側で+1.5度、津軽海峡側で+2.0度、太平洋側で+1.5度、陸奥湾内で+2.2度となっており、平均昨年差は+1.9度です。

平年と比べると、日本海側、太平洋側、陸奥湾でやや高め、津軽海峡側でかなり高めとなっており、平均平年差は+1.1度となりました。

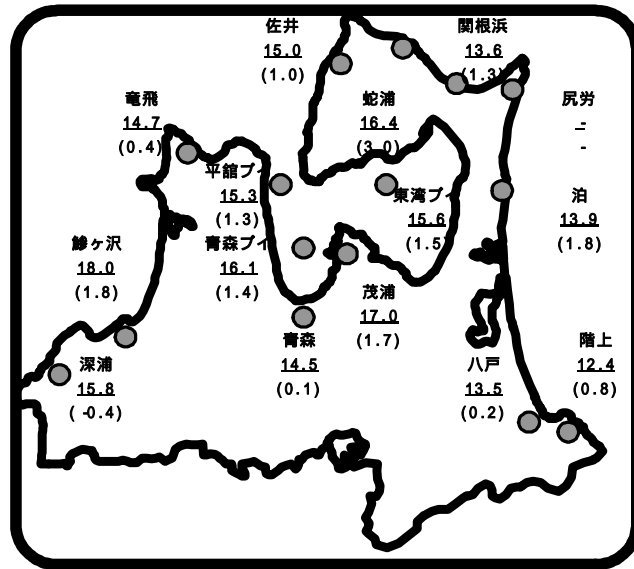


図 定地水温 (6月6~10日)
平均値 (平年差) プイ 1 m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	15.8	-0.4	+0.3	+0.0
鯨ヶ沢	18.0	+1.8	+2.6	+0.5
竜飛	14.7	+0.4	+0.2	+0.4
佐井	15.0	+1.0	+2.0	-
青森	14.5	+0.1	+0.4	+0.0
蛇浦	16.4	+3.0	+3.6	+1.8
関根浜	13.6	+1.3	+2.2	+0.5
尻屋	-	-	-	-
泊	13.9	+1.8	+1.9	+0.4
八戸	13.5	+0.2	+0.8	+0.8
階上	12.4	+0.8	+1.7	+0.6
茂浦	17.0	+1.7	+3.1	+2.1
平館	15.3	+1.3	+2.3	+1.3
青森	16.1	+1.4	+2.2	+1.3
東湾	15.6	+1.5	+3.1	+1.9
平均	15.1	+1.1	+1.9	+0.8

太平洋の海況 (6月7~10日)

概況; 沿岸水温は13台

太平洋沿岸域の表面水温 13台で前回と比べ1~2度昇温しています。前年同期と比較すると、1~2度高い水温になっています。

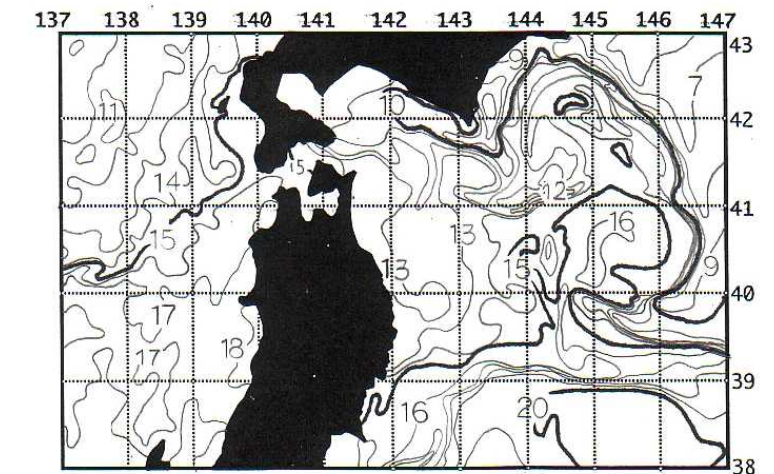
津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し 12等温線で見ると東経142度30分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

親潮系冷水の南下 11等温線で見ると北緯41度25分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海の海況 (6月7~10日)

概況; 沿岸水温は16~17台

日本海沿岸域の表面水温 16~17台で、前回と比べ2度ほど昇温しています。前年同期と比べると2度ほど高い水温になっています。



資料: (社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第20号 6月11日

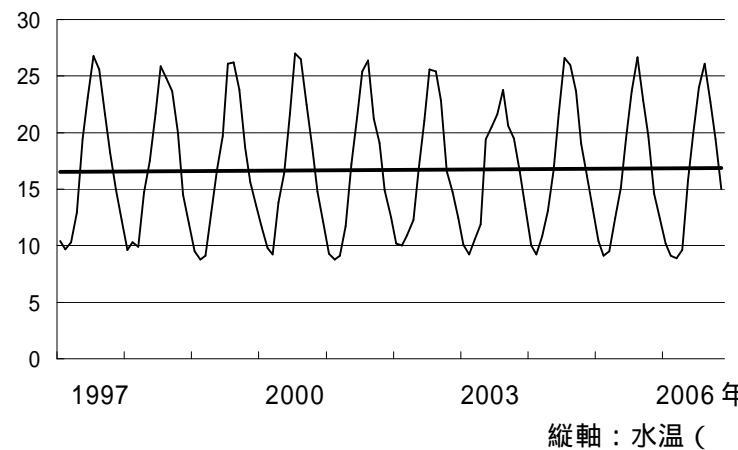
対馬暖流と津軽暖流の中心水温について

当所では海洋観測を行って、本県周辺を流れる暖流の指標値を公表しています。

右図には対馬暖流(日本海側)の表面の水温(最高水温)の10年間の推移を示しました。これを見ると、季節変動を示しているのがわかります。

広域的・長期的な水温変動としては数十年周期の変動やエルニーニョ、レジームシフトなどが知られていますが、最近10年間の傾向をみるために傾向線をひいてみました(図中の直線)。この傾向線はわずかに右上がりを示しています。この線の傾きから計算すると、この10年間に限っては約0.4度水温が上昇していることとなります。

同様に対馬暖流の100m層では10年間に約0.9度、津軽暖流(太平洋側)の表面では1.5度、100m層では1.3度水温が上昇しているという結果となりました。



試験船情報

試験船開運丸は日本海でのスルメイカ分布調査を終了しています。6月1~6日までの結果は右の表のとおりです。

全操業点のうち、今回調査の南限である輪島沖において漁獲尾数が0尾とスルメイカの分布が確認されませんでした。その他の操業点では分布が確認され、中でも青森、秋田の県境周辺海域で、CPUE(釣機1台1時間あたりの漁獲尾数)25.2尾と最も高い値でした。今回の調査でスルメイカの大きな群れは、秋田県周辺にいたものと思われます。また、魚体の大きさは、モード19~21cmと比較的大型の群れでした。

開運丸 スルメイカ漁場形成予測手法開発調査結果(日本海・スルメイカ)

操業月日	操業位置	漁獲尾数(*)	魚体(cm)**	表面水温()
6月1日	39-14, 138-52(佐渡東方)	638(5.6)	15~23(17)	16.3
6月2日	39-19, 137-28(佐渡西方)	1051(7.9)	13~23(20)	16.9
6月3日	38-41, 136-51(輪島沖)	0(0.0)	-	16.9
6月3日	38-43, 137-11(佐渡西方)	282(3.1)	16~23(19)	16.1
6月4日	39-25, 137-59(秋田沖)	1620(11.5)	15~21(18)	18.8
6月5日	40-02, 137-08(男鹿沖)	1878(13.2)	14~23(21)	17.8
6月6日	40-30, 138-29(青森・秋田県境沖)	4115(25.2)	16~23(19)	15.6

* 釣り機1台1時間あたりの漁獲尾数 ** 主となる大きさ